

森ノ宮ピロティホール

遺跡展示室
公開のご案内



平成29年3月18日(土)、 森の宮遺跡展示室の一般公開をおこないます。

中央区の森ノ宮中央1丁目にある森ノ宮ピロティホール地下には、西日本を代表する縄文～弥生時代の貝塚が残されています。昭和46年からおこなわれた発掘調査では、縄文人や弥生人たちが食べた多量の貝の殻に加え、埋葬された縄文人の骨、狩猟や漁ろうの道具、煮炊きに使用した土器、耳飾のようなアクセサリといった、数千年前の生活を彷彿とさせる資料が見つかっています。

この展示室は、調査で見つかったものをその現地で見ていただくため、昭和54年にオープンしました。年に数日しか一般公開をしておりませんので、この機会にぜひお越しください。



〈展示品より〉
約4000年前の縄文土器
波打つ口縁部分が力強い

●日時：平成29年3月18日(土) 午前11時～午後3時

●場所：森の宮遺跡展示室

裏面の地図をご覧ください。

(森ノ宮ピロティホール地下階：中央区森ノ宮中央1丁目17-5)

●交通：JR環状線森ノ宮駅から徒歩3分

地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線森ノ宮駅2号出口から徒歩1分

●参加方法：事前申込等は不要です。公開時間中に直接おこしください

(展示室がせまいため、混み合う場合は入室をお待ちいただくことがあります)

●主催・問い合わせ先：大阪市教育委員会事務局 文化財保護課

Tel:06-6208-9166 Fax:06-6201-5759



大阪市指定文化財に指定された
「森の宮貝塚出土人骨」のうちの、
第4次調査8号人骨「人骨製装身具」も
展示しています。